



# いまこそ「憲法9条を守れ」「小田原市平和都市宣言を生かせ」 の一致点で力を合わせましょう

## —「小田原市無防備・平和都市条例」案についての見解—

小田原市3月議会に「小田原無防備平和条例をめざす会」のみなさんが直接請求した無防備平和都市条例（案）は、賛成少数で不採択となりました。採決に当たり日本共産党小田原市議団を代表し、田中議員が討論に立ち要旨以下のような見解を表明しました。

日本共産党小田原市議団

### 署名された多くの市民の平和への思いを重く受け止めます

この条例制定については、有権者の50分の1という署名を集め、直接請求によって条例案を提出されたことに、心から敬意を表するものです。この条例案は、憲法を改悪し戦争ができる国へすすもうとしていることに危機感を抱き、戦争に協力しない平和なまちづくりを推進するための条例を制定することを意図とし、提出されたと理

解しています。

7千4百71筆には、心から平和を願う心が込められています。この運動に携わった方たちの熱い平和への願いと行動を、心から重く受け止めさせていただきます。そして日本共産党市議団も平和への願いや思いは同じであることを改めて表明します。

### 小田原市平和都市宣言を生かし平和施策の充実を求めます

条例案第4条の平和事業の推進・予算の計上には賛成です。小田原市は平和都市宣言を掲げていますが、その事業の充実や発展は重要だと考えます。条例案の提案は、

平和施策の充実につながり有効と考えます。その実現のためにも、事業充実に見合った予算にすべきです。

### 提案された条例案は、憲法9条と相容れないのではないのでしょうか

条例案の前文および第1条から第4条までは、日本を戦争する国に変えようとする策動に対し、平時から戦争に協力しない平和なまちづくりを進めようというものです。

ない、その代わり市民を攻撃しないという約束をとるといふものです。提案されている条例案は、このような戦争状態になることを想定し、あらかじめそれに備え条例を制定しようとするものです。またそれをよりどころに戦争に協力しない平和なまちづくりを進めようというものです。

しかし、第5条（国際人道法の積極的運用）には大きな問題があります。ジュネーブ諸条約第一追加議定書59条による無防備地区宣言とは、外国が攻めてきたとき、市内にある武力および武装勢力を排除し、そのうえで外国の軍隊に対しては占領、軍制、徴用を認め一切抵抗し

憲法9条のあるわが国において、以上のような備えは相容れないものです。憲法9条の理念から大きくかけ離れるものといえないでしょうか。

### 日本を戦場にさせないため「憲法9条を守れ」の一致点で力を合わせましょう

憲法9条には戦争の放棄、9条2項では戦力の不保持を謳っています。日本を戦場にさせないために存在するのが憲法9条です。この憲法9条がある下で、戦争状態を想定した条例を決めることは大きな矛盾です。国の最高法規の憲法、この9条を守り通すことが戦争を寄せ付けない保障です。

など、国民の平和への願いは改憲勢力を押し返しています。

今大切なことは9条を守る1点で多くの方が手を携えることではないでしょうか。9条を守る運動が大きく広がって「9条の会」は6千以上もつくられています。この条例案は、こうした9条を守ろうとする動きと矛盾すると思います。

確かに改憲勢力は、武力攻撃事態法など改悪の下地を着々とすすめています。しかし、自衛隊の給油ストップ、米軍再編強化に反対する神奈川各地の地域ぐるみの運動

日本共産党市議団は以上のことを申し述べ、議案第44号の条例制定については賛成できないことを表明します。

みなさんと  
ご一緒に取りくみ  
前進しました

小児・重度障害者・1人親家庭等の通院医療窓口一部負担は導入せず  
妊婦検診費公費負担2回から5回へ  
市立病院の女性医師の働く環境整備の推進  
小・中学校の校舎、体育館の耐震補強工事の推進  
介護保険の保険料引き上げの中止

